

2020年度 女子ソフトボール部 メンバーインタビュー

部員数	21～40人	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群, 社会・国際学群, 人間学群, 生命環境学群, 情報学群, 医学群	2019年度春季リーグ2部3位入賞
練習場所	筑波大学春日グラウンド	

守屋真有(障害科学3年)

立石すみれ(日日2年/マネージャー)

— 私が目指す「ソフトボール」

守屋

このコロナの影響で試合がなくなりましたが、今年はインカレ出場を目標に練習していました。

もう一つ挙げるなら、リーグ戦で今よりも上のランク(二部で優勝して、一部に昇格)に上がることを目標にしていました。

立石

基本的にマネージャーは選手が気持ちよく練習できるように、準備や時間管理、体調管理などの面で支えています。

それと同時に、私の考えですが、選手の精神的な面も支えられるように、自分なりにやっています。



— 筑波大学をどう思っていた？

守屋

筑波大学を選んだ一つの理由として、学群の垣根をこえて、様々な事を学べることがあります。実際に入学しても、他の学群の授業が卒業単位になったり、またこのようにいろんな授業を取ることが推奨されている環境で、いろんなことが学べて楽しいなと思っています。

立石

日本語系の学部でジャンルが絞られますが、それでも他の学群の授業も取れます。自分がやりたいことがあって筑波に来ましたが、それに対していろんな面からアプローチできる環境です。

私の学群だけでなく、体育専門学群に来て、自分がやりたいことに対して、他の分野からも知識を取り入れて、自分のプレースタイルや技術に活かしていけるところがあるのかなと思い、それが筑波のいいところだと思います。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなおとこ

守屋

私が好きなおとこは、いろんな人がいるところなんです。

ずっとソフトをやってきた人、大学からソフトを始める、競技を転向してソフトを始める、いろんな学類の人がいます。多種多様な人がいるところが魅力です。そして、それでも全員がソフトを楽しんでやっています。

立石

私は、ソフト部が大好きです。こんなに仲の良い部活はあるのかと思うくらい。学年を超えて、部のことに関して話し合う時も、みんなの意見を取り入れて話し合いをする。それがソフト部のいいところで、それが好きなおとこです。



— これからの目標(直近の目標、人生の目標)

守屋

レギュラーとして試合に出ることを目標にしています。

今プレイヤーが 20 人くらい、その中で 3 人が初心者。野球やソフト経験者が多い中で、やっているからには試合に出たいです。そして、レギュラーとして頼れる選手になることが目標。

立石

敏腕マネージャーになることです。私の 2 年上の先輩マネージャーさんに色々なことを教えてもらいました。その方のマネージャー像が今でも目標です。選手の身体ケアから精神的なケアを施せるようなマネージャーになりたいと思っています。

— 未来のチームメイトに一言

守屋

このチームは、学生が主体となってチームを運営しています。大学スポーツならではの魅力を感じられるチームです。

部活だけでなく、プライベートも多くの時間を過ごす、かけがえのない時間を過ごす仲間に出会えると思うので、是非きてください。待ってます！

立石

もちろん練習もたくさん、きついこともあります。それだけではなく、チームがどうやったら良くなる、どうやったら目標を達成できるのか、考えてやっていく部活です。

SNS もあるので、そこから繋がって、色々話をしながら、私たちを知ってください。一緒に上を目指して、考えながらやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします！

